

ZD500 Series™ クイック・リファレンス・ガイド

このガイドでは、プリンタの日常的な操作について説明します。詳細については、『ZE500 Series™ ユーザー・ガイド』を参照してください。

プリンタ機能

図 1 に、プリンタの外側の特徴を示し、図 2 に、用紙コンパートメント内の特徴について示します。プリンタ・モデルとインストール済みオプションによって、プリンタの外観は多少異なる場合があります。

図 1・プリンタの機能

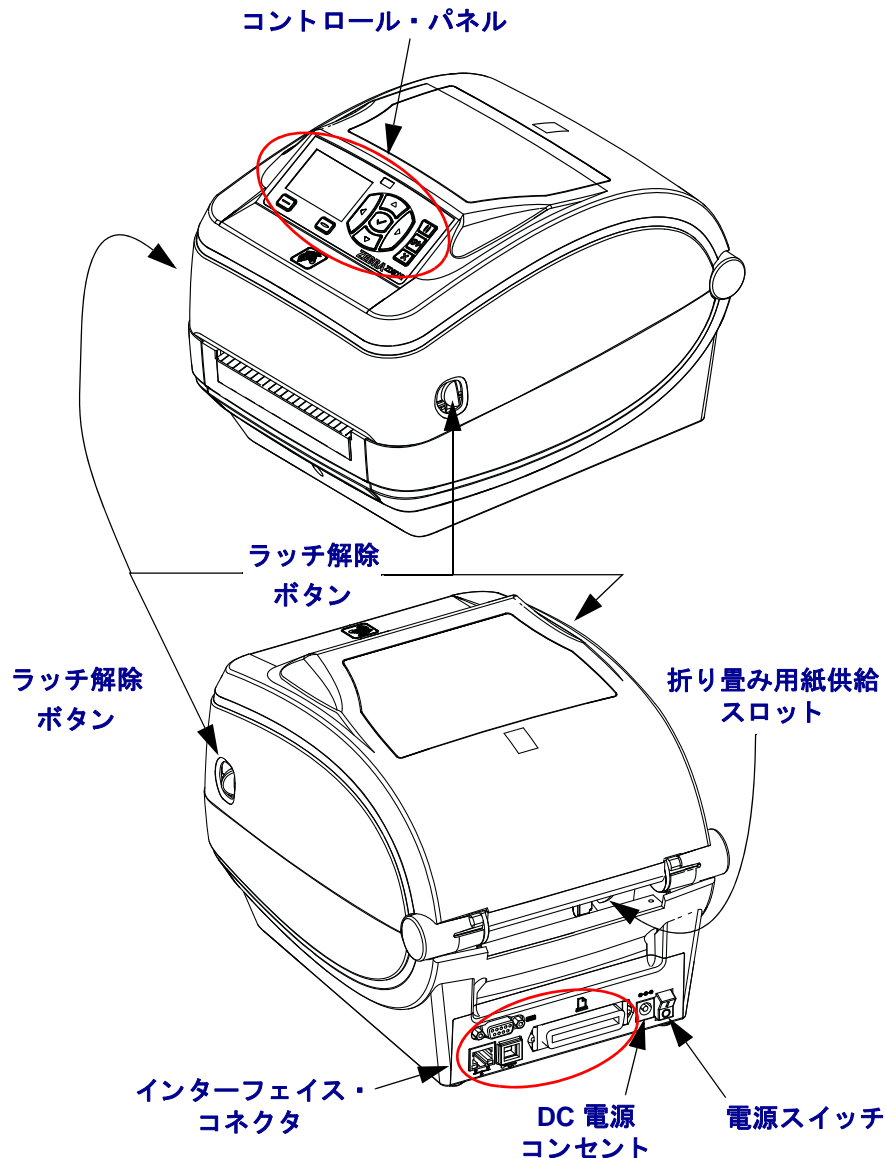


図 2・プリンタの機能 (続き)

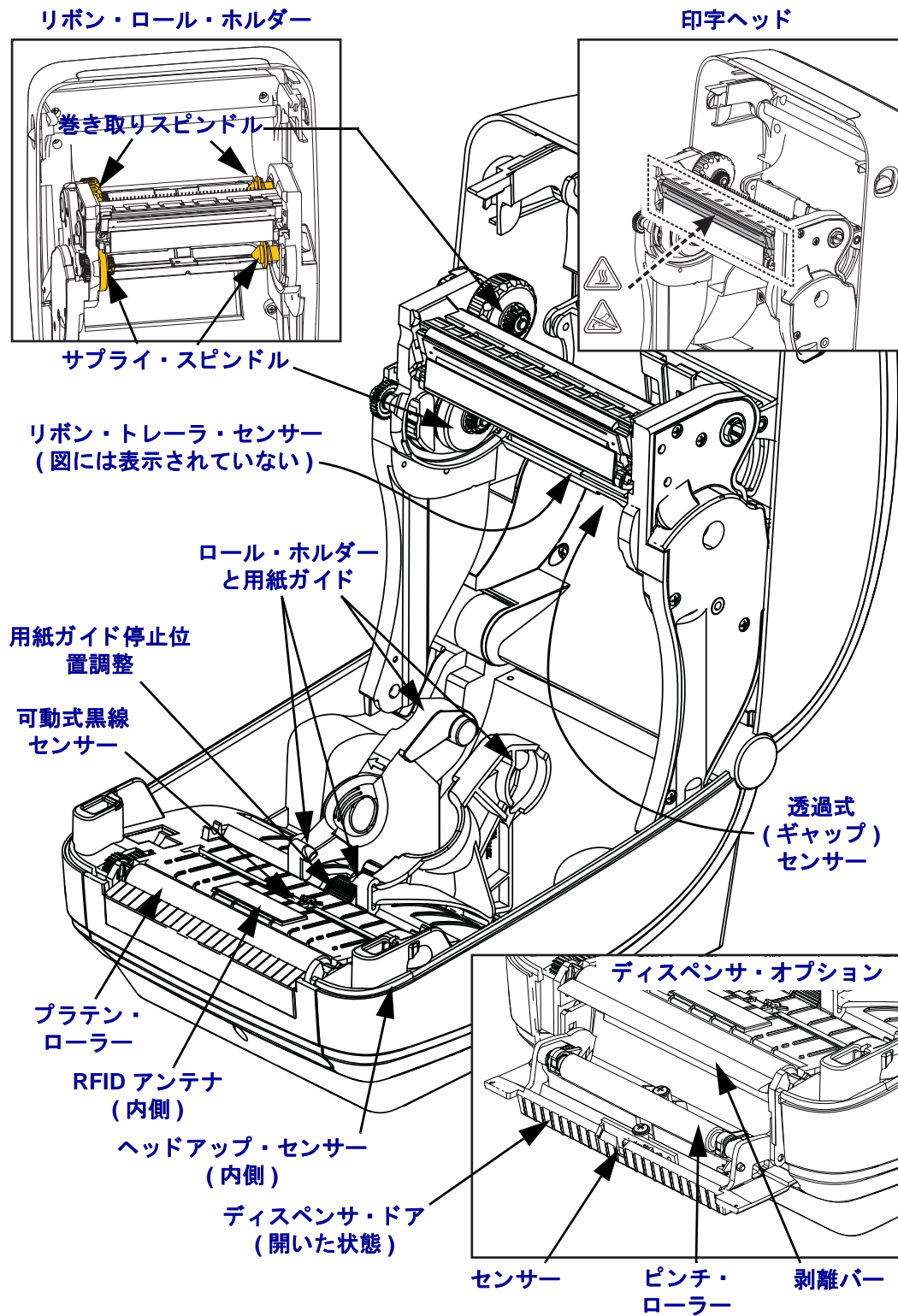
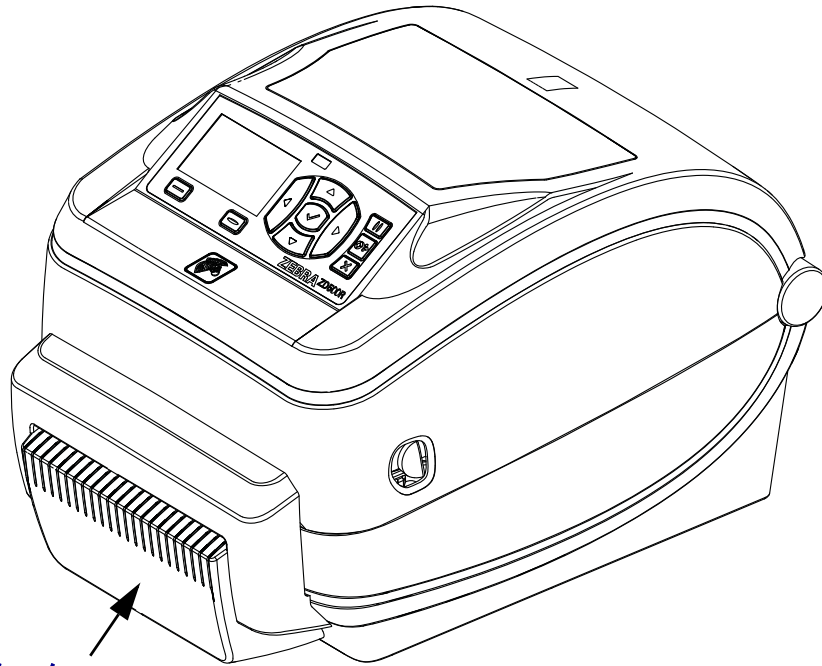
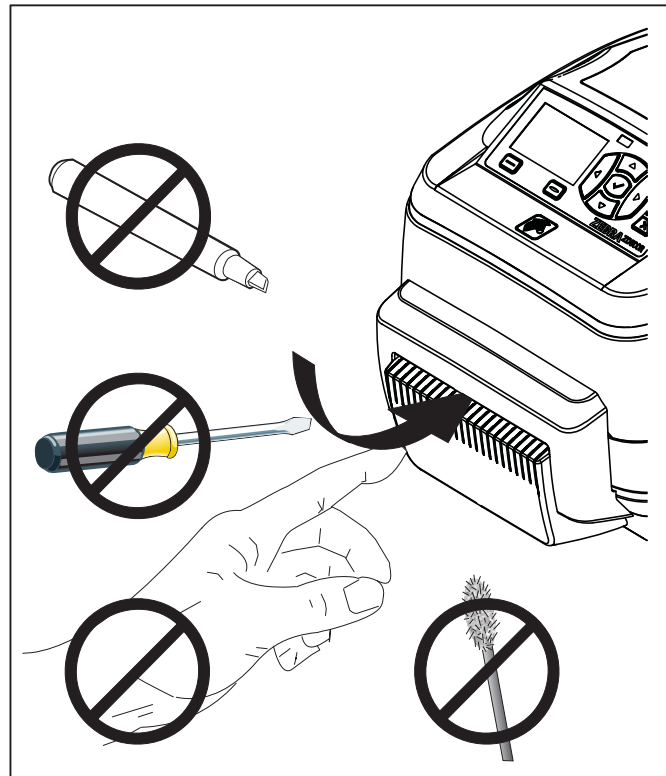


図 3・プリンタの特徴 - カッター・オプション



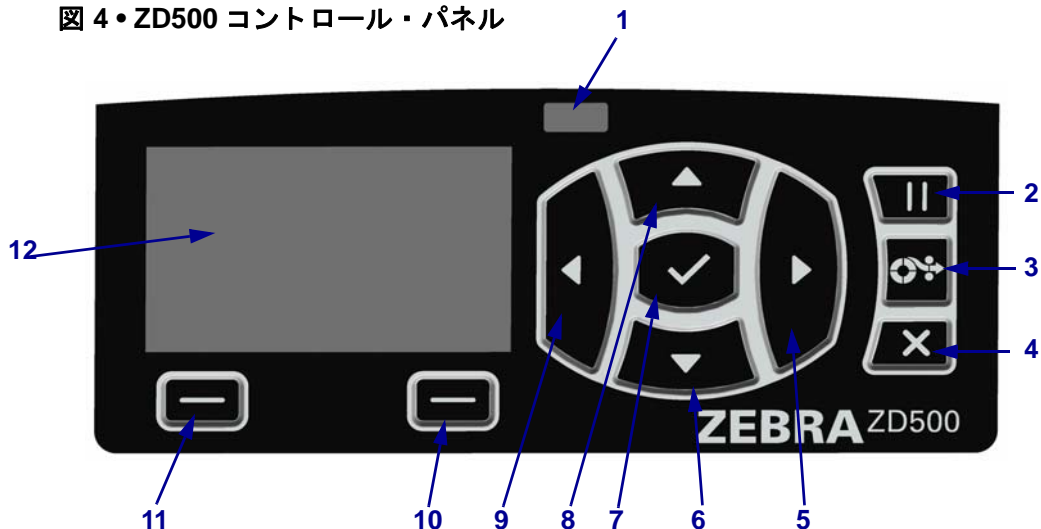
用紙カッター
(オプション)



コントロール・パネル








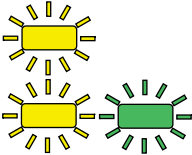
コントロールパネルは、プリンタの動作状態を示し、基本的なプリンタ動作を制御します。

図 4 • ZD500 コントロール・パネル



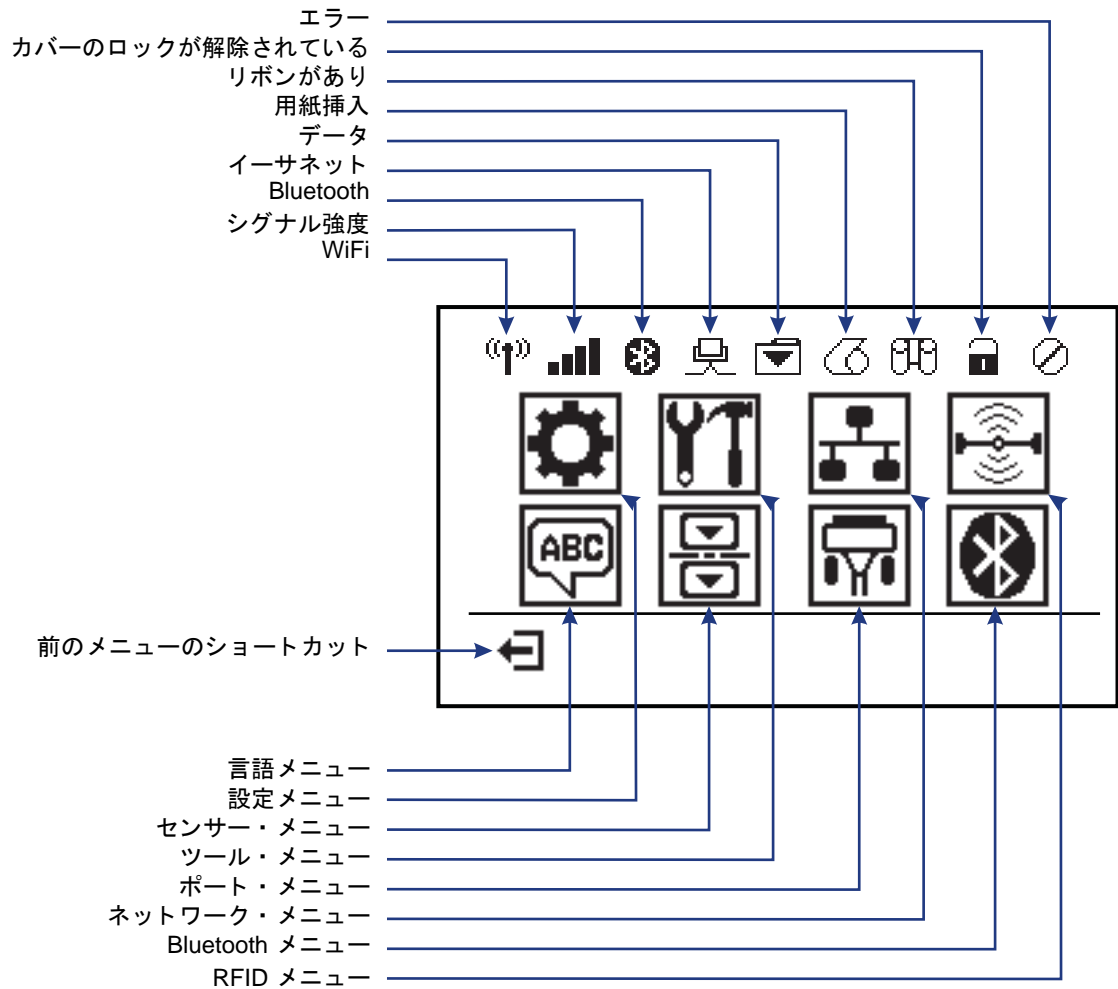
1	STATUS (ステータス) ランプ	プリンタの現在の状態を表示します。詳細については、5 ページの表 1 を参照してください。
2	PAUSE (一時停止) ボタン	ボタンを押すと、プリンタの動作が開始または停止します。
3	FEED (フィード) ボタン	ボタンを押すと、プリンタによって空白のラベルが 1 つフィードされます。
4	CANCEL (キャンセル) ボタン	プリンタが一時停止になると印刷ジョブがキャンセルされます。
5	右方向ボタン (メニュー・システムでのみ有効)	右へナビゲートします。
6	下方向ボタン	パラメータ値を変更します。通常は、値を減らしたり、選択肢をスクロールするのに使用します。
7	OK ボタン	OK ボタンの動作は、以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ホーム画面上では、OK を押すと、メニュー・システムに入ります。 メニュー・システム内では、OK を押すと、表示された値が確定します。
8	上方向ボタン	パラメータの値が変わります。通常は、値を増やしたり、選択肢をスクロールするのに使用します。
9	左方向ボタン (メニュー・システムでのみ有効)	左へナビゲートします。
10	右選択ボタン	ボタンを押すと、そのボタンの真上のディスプレイ内に表示されたコマンドが実行されます。
11	「LEFT SELECT (左選択)」 ボタン	
12	ディスプレイ	ディスプレイにはプリンタの動作状態が表示され、メニュー・システムをナビゲートできます。

表 1・プリンタ・ステータス・インジケータ・ライト

	<p><i>STATUS</i> (ステータス) ランプが緑色点灯 プリンタが使用可能です。</p>
	<p><i>STATUS</i> (ステータス) ランプが琥珀色点灯 このインジケータ・ランプの点灯は、次のいずれかを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンタの準備ができていません。 • 印字ヘッドの温度が高すぎます。 <p> 注意・印字ヘッドは高温になって、ひどい火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。</p>
	<p><i>STATUS</i> (ステータス) ランプが琥珀色点滅 このインジケータ・ランプの点滅は、次のいずれかを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 印字ヘッドの温度が低すぎます。
	<p><i>STATUS</i> (ステータス) ランプが赤色点灯 このインジケータ・ランプの点灯は、次のいずれかを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 用紙切れです。 • リボンがなくなりました。 • 印字ヘッドが開いています。 • カッターに誤動作が発生しました。 <p>プリンタに何らかの問題が発生していて、ユーザーが介入しないと続行できません。</p>
	<p><i>STATUS</i> (ステータス) ランプが赤色点滅 このインジケータ・ランプの点滅は、次のいずれかを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンタが印字ヘッドの種類を正しく識別できません。 • メイン・ロジック・ボード (MLB) の温度が高すぎます。 • 印字ヘッドの温度が高すぎます。 <p> 注意・印字ヘッドは高温になって、ひどい火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。</p> <p>プリンタに何らかの問題が発生していて、ユーザーが介入しないと続行できません。</p>
	<p><i>STATUS</i> (ステータス) ランプが琥珀色点滅し、その後、琥珀色/緑色が交互に点灯する このステータス・ランプの状態は、プリンタが強制ダウンロード・モードであることを示します。 強制ダウンロード・モードは、プリンタに新しいファームウェアをダウンロードするのに使用されます。このモードは、トレーニングを受けた担当者が使用するようにしてください。</p>

コントロール・パネルの表示メニューとステータス・アイコン

図 5・代表的なホーム・メニュー

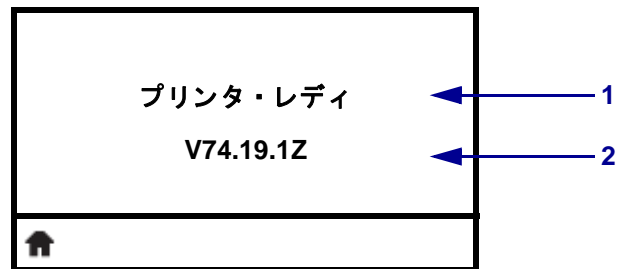


プリンタのコントロール・パネル・ディスプレイ

ZT230 プリンタのコントロール・パネルにはディスプレイがあります。このディスプレイでは、プリンタのステータスを表示したり、稼働パラメータを変更したりできます。このセクションでは、プリンタのメニュー・システムをナビゲートしてメニュー項目の値を変更する方法を学びます。

プリンタで電源投入シーケンスが完了すると、アイドル表示に移ります (図 6)。プリント・サーバがインストールされている場合、プリンタは表示情報とプリンタの IP アドレスを順次示します。

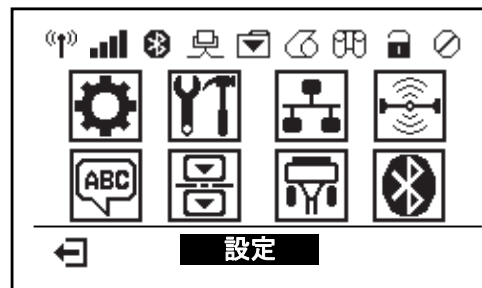
図 6・アイドル表示



1	プリンタの現在の状態
2	アイドル表示を使用して設定した情報
🏠	ホーム・メニューのショートカット

プリンタの稼働パラメータは、いくつかのユーザー・メニューに分類されます。これらのユーザー・メニューには、プリンタのホーム・メニュー (図 7) からアクセスできます。プリンタ設定の変更の詳細については、『ZE500 Series ユーザー・ガイド』を参照してください。

図 7・ホーム・メニュー



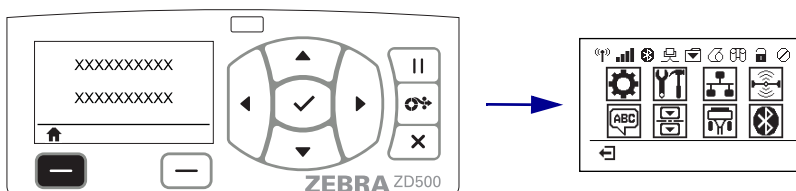
	SETTINGS (設定) メニューを参照してください。		LANGUAGE (言語) メニューを参照してください。
	TOOLS (ツール) メニューを参照してください。		SENSORS (センサー) メニューを参照してください。
	NETWORK (ネットワーク) メニューを参照してください。		PORTS (ポート) メニューを参照してください。
	RFID メニューを参照してください。		BLUETOOTH メニューを参照してください。
	終了してアイドル表示に戻ります。		



メニュー内の画面のナビゲート

表 2 に、コントロール・パネル・ディスプレイの画面からのナビゲートを示します。

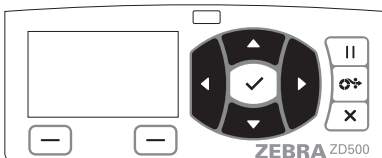
表 2・ナビゲート

アイドル表示



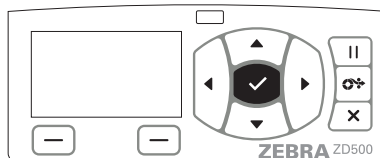
アイドル表示 (7 ページの  6) から、プリンタのホーム・メニュー (7 ページの  7) に進むには、「LEFT SELECT (左選択)」ボタンを押します。

ホーム・メニュー

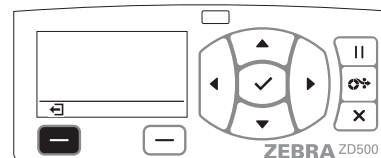


ホーム・メニューでアイコンからアイコンへ移動するには、「ARROW (方向)」ボタンを押します。

アイコンを選択すると、選択したアイコンが反転して強調表示されます。



強調表示されたメニュー・アイコンを選択してメニューに入るには、「SELECT (選択) (✓)」ボタンを押します。



ホーム・メニューを終了してアイドル表示に戻るには、「LEFT SELECT (左選択)」ボタンを押します。



SETTINGS (設定)
メニューアイコン

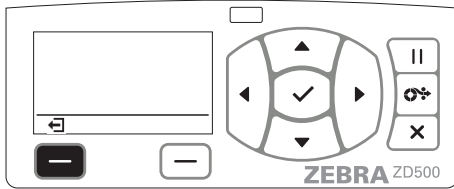


SETTINGS (設定) メニューアイコンが
強調表示され、選択できるようにアクティブになります。

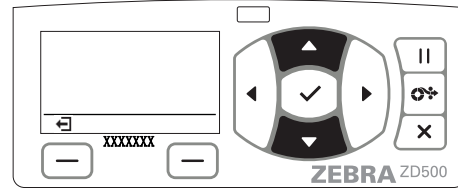
注・ホーム・メニューで 15 秒間なにも操作しないと、プリンタは自動的にアイドル表示に戻ります。

表 2・ナビゲート

ユーザー・メニュー

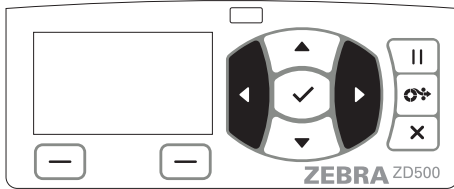


ホーム・メニューに戻るには、「LEFT SELECT (左選択)」ボタンを押します。

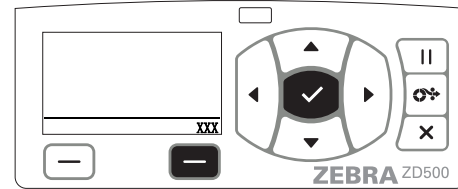


▼と▲は、値の変更が可能であることを示します。値の変更を行うと、すべて即座に保存されます。

「UP ARROW (上方向)」ボタンまたは「DOWN ARROW (下方向)」ボタンを押して有効値をスクロールします。



ユーザー・メニューの項目をスクロールするには、「LEFT ARROW (左方向)」または「RIGHT ARROW (右方向)」のボタンを押します。



ディスプレイの右下隅に、使用可能な操作が表示されます。表示された操作を実行するには、「SELECT (選択)(✓)」ボタンを押すか、「RIGHT SELECT (右選択)」ボタンを押します。

注・ユーザー・メニューで 15 秒間なにも操作しないと、プリンタは自動的にホーム・メニューに戻ります。

プリンタ・メニューとレポートの表示言語の設定

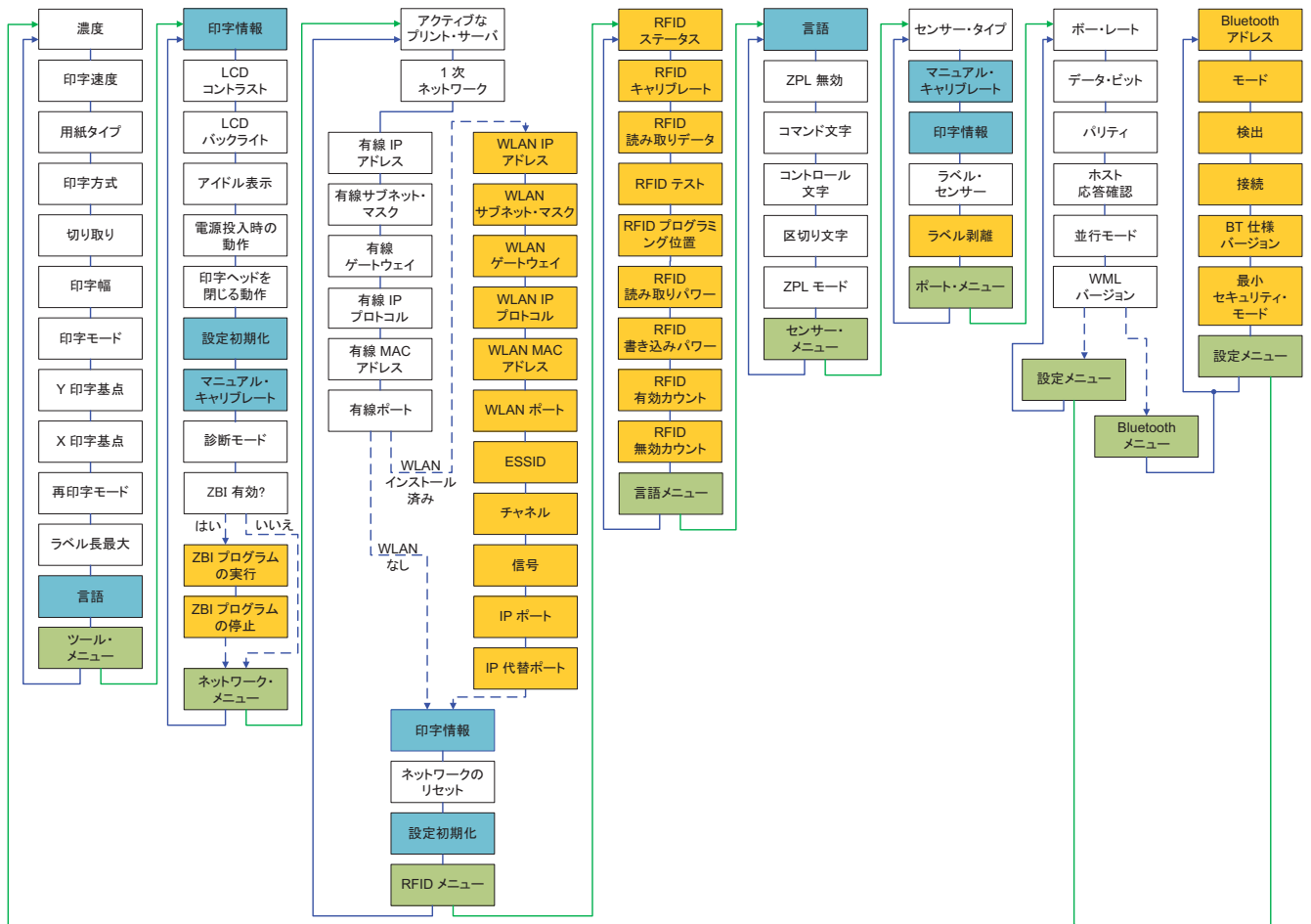
プリンタは、メニュー表示、日付と時刻のフォーマット、および設定レポートに関する多くの言語をサポートしています。

言語は、主にコントロール・パネルのメニューを使用して設定します。プリンタがオンになり、「準備完了」の状態になったら、次の手順を実行し、プリンタの言語を設定します。

1. 「Home (ホーム)」(🏠)メニュー・ボタンを押します。
2. 「LANGUAGE(言語)」(🗨️)メニュー・ボタンに移動し、「Select (選択)」(✓)ボタンを押します。
3. 言語を参照するには「Up(上方向)」(▲)および「Down(下方向)」(▼)ナビゲーション矢印を使用してください。
4. プリンタを操作するのに使用する言語が見つかったら、ナビゲーションを止めます。表示される言語は、選択した言語になります。

コントロール・パネルのメニュー・マップ

- ホーム・メニューの項目
- 他のメニューにあるメニュー項目
- プリンタ・オプション。存在しない可能性あり。
- 次のメニュー・グループに移動



電源の取り付け

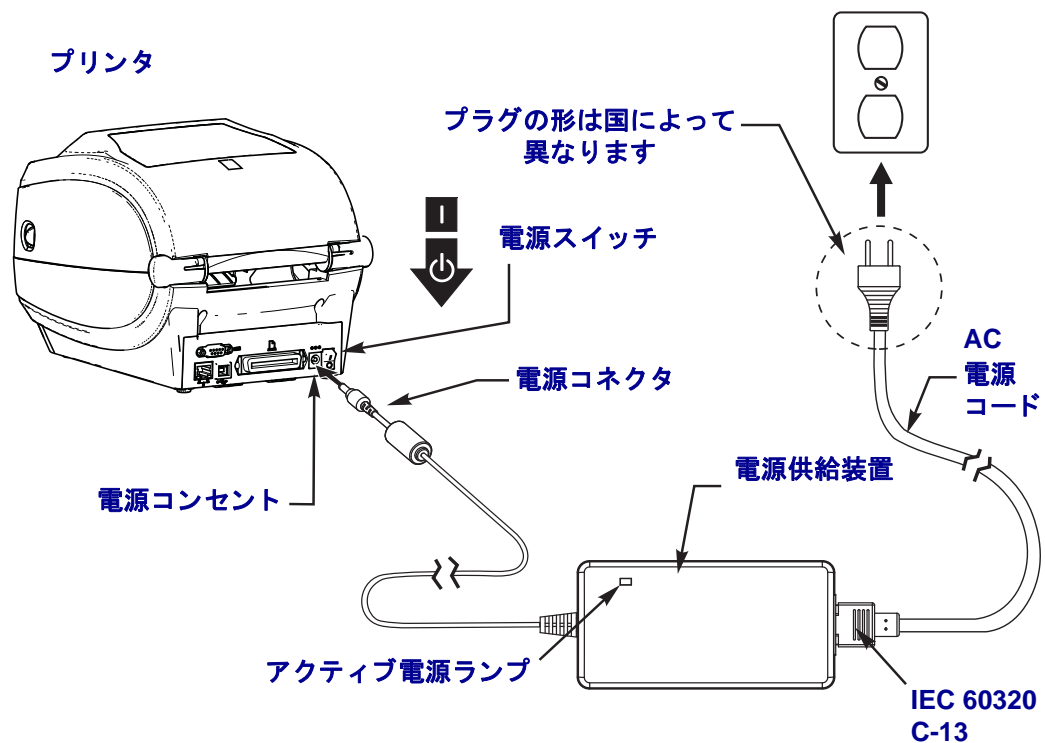


重要・プリンタを設置する際は、必要に応じて電源コードを扱いやすいように設置してください。プリンタに電流が流れないように、電源コードは電源供給装置や AC 電源のソケットから離しておいてください。



注意・水に濡れる恐れのあるエリアでは、絶対にプリンタと電源供給装置を移動しないでください。重大な身体傷害を起こす恐れがあります！

1. プリンタの電源スイッチがオフの位置（下がっている）にあることを確かめてください。
2. AC 電源コードを電源装置に差し込みます。
3. AC 電源コードのもう一方の端を、適切な AC 電源のコンセントに差し込みます。
注：AC コンセントから電源が入ると、アクティブ電源ランプがオンになります。
4. 電源装置の電源コネクタを、プリンタの電源コンセントに挿入します。



注・三極プラグと IEC 60320-C13 コネクタを備えた適切な電源コードを必ず使用してください。これらの電源コードには、本製品を使用する国の認証マークが付いていなければなりません。

用紙と熱転写リボンの装着

注意・用紙やリボンをセットする際には、印字ヘッドや他のプリンタ部品に接触する可能性のある宝飾品類はすべて外してください。



注意・印字ヘッド・アセンブリに触れる前に、プリンタの金属フレームを触るか、静電気除去用のリスト・ストラップとマットを使用して、蓄積した静電気をすべて除去してください。

リボンの装着 リボンを使用するのは熱転写ラベルのみです。ダイレクト・サーマル・ラベルの場合は、プリンタにリボンを装着しないでください(下記の手順のステップ2～6をスキップすること)。



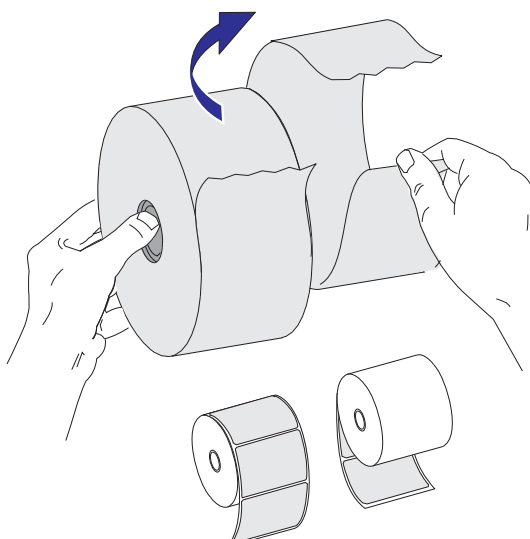
重要・印字ヘッドの磨耗を防ぐには、用紙より幅の広いリボンを使用してください。リボンは、**外側**がコーティングされている必要があります(詳細については、『ユーザー・ガイド』を参照してください)。

用紙のセット 切り取りモードでリボンを装着してロール用紙をセットするには、この項の説明に従います。折り畳み用紙をセットしたり、別の印字モードでロール用紙をセットする方法については、『ユーザー・ガイド』を参照してください。

用紙の準備

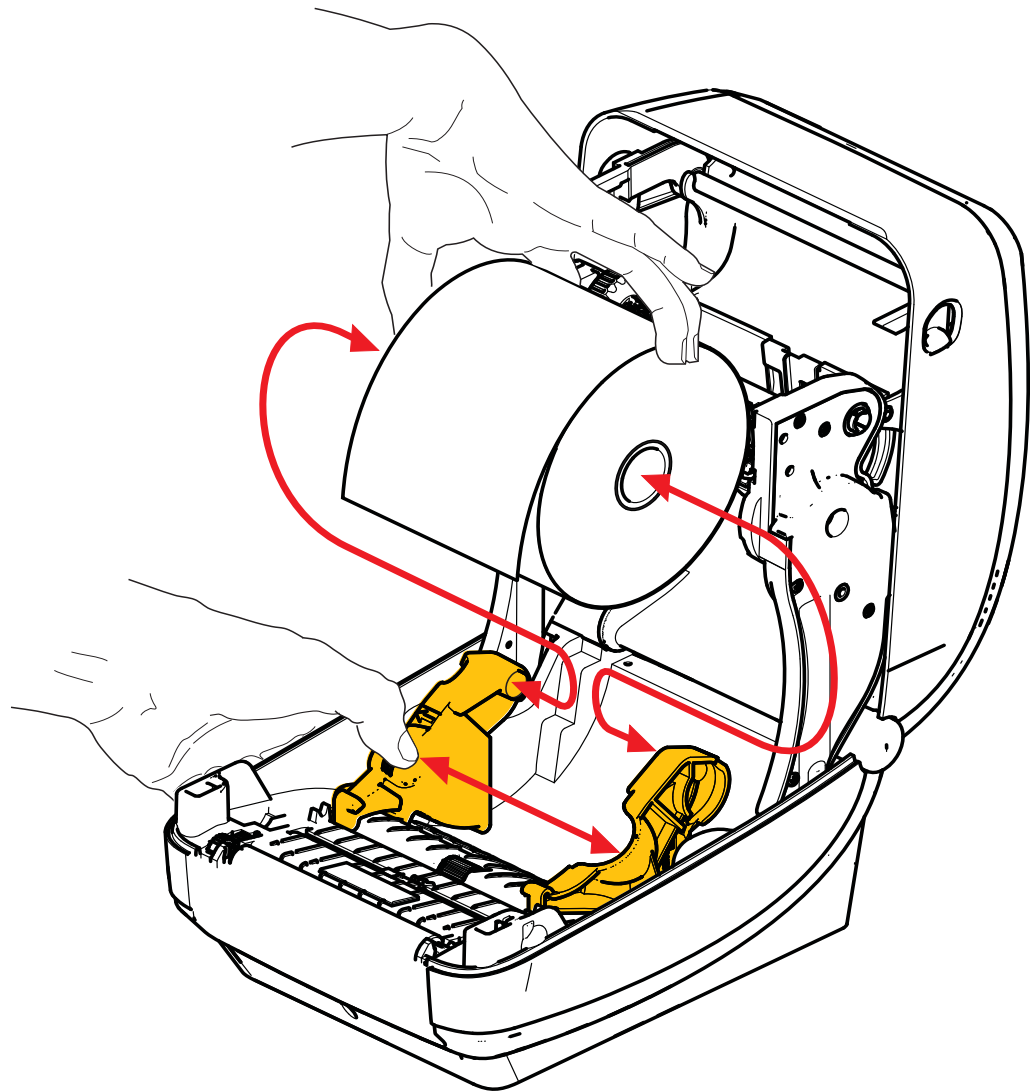
ロール紙が内巻きでも外巻きでも、装着方法は同じです。

- 露出した部分のロール紙を取り除いてください。出荷や操作、または保管中に汚れたりほこりが溜まったりしていることがあります。露出した部分のロール紙を取り除くことによって、粘着物や汚れた用紙が印字ヘッドとプラテンの間に巻き込まれるのを回避できます。



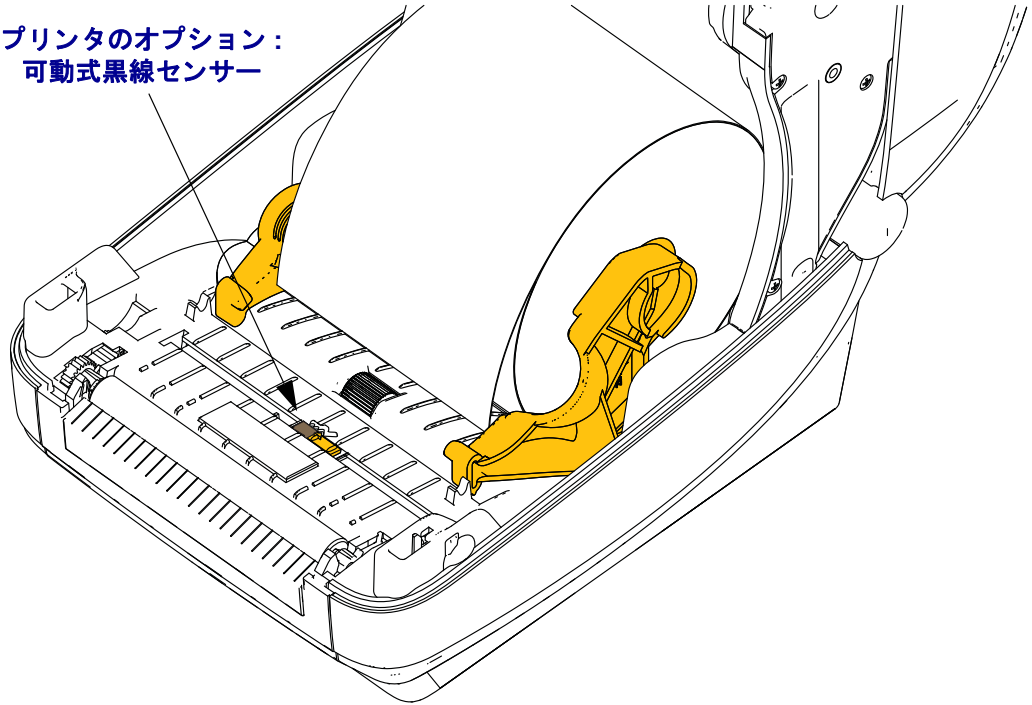
用紙セット部でのロール紙の装着

1. プリンタを開きます。解除ラッチ・レバーをプリンタの前面方向に引きます。
2. 用紙ロール・ホルダーを開きます。用紙ガイドを空いている方で手で引いて開き、用紙ロールをロール・ホルダーに載せたらガイドから手を離します。ロール紙がプラテン(ドライブ)・ローラーを通るとき、印刷される面が上向きになるように用紙ロールの向きを定めます。



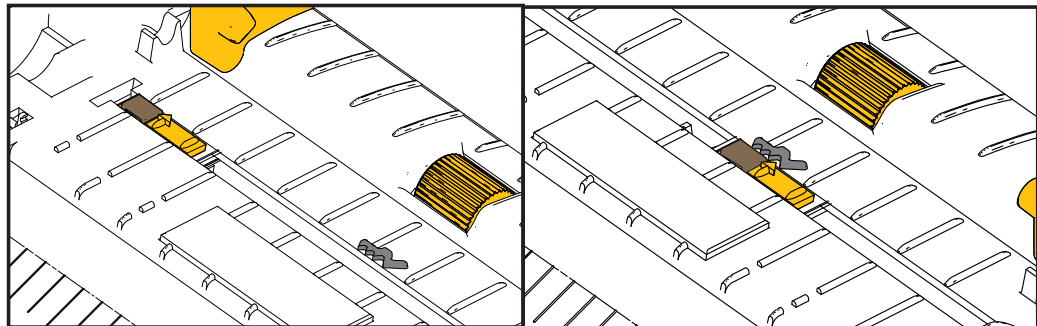
3. 可動式黒線センサーが中央のデフォルト位置に合っていることを確認します。これは用紙検知の標準操作位置です。センサーがデフォルトのギャップ（透過式）の検知領域からずれると、プリンタは黒線、黒マーク、切れ込みマークの入った用紙しか検出できません。このセンサーのさまざまな使用方法を調整するための詳細については、『ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

プリンタのオプション：
可動式黒線センサー

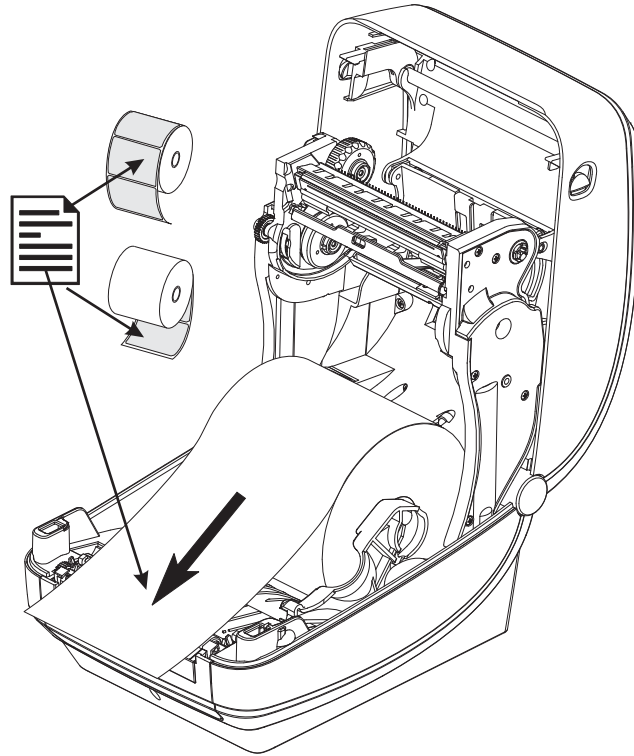


オフ・センサー
可動式の検知のみ

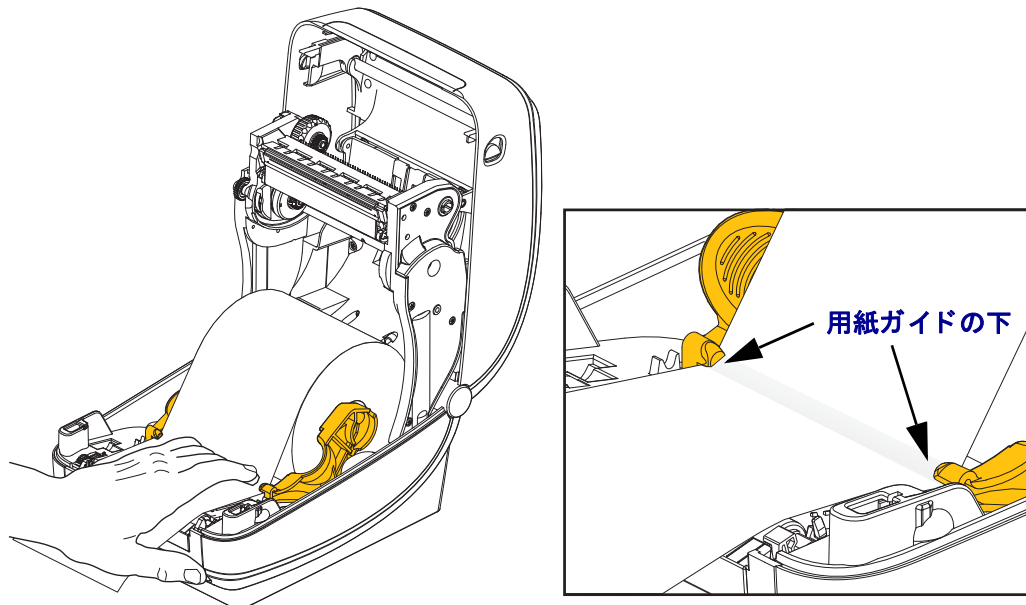
デフォルト・ギャップ（透過式）の検知
標準操作位置



4. 用紙を引っ張って、プリンタの前面から出るようにします。ロールがスムーズに回転することを確認します。ロールが用紙セット部の底で動かない状態になっていてはなりません。用紙の印刷面が上を向いていることを確認してください。



5. 用紙を両側の用紙ガイドの下に押し込みます。



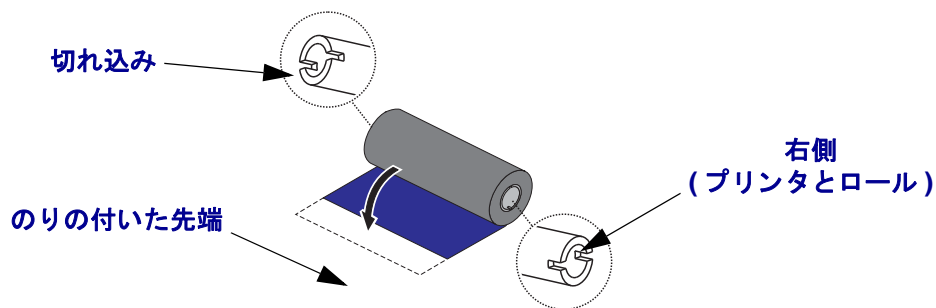
6. プリンタを閉じます。カバーがカチッと閉まるまで押し下げます。

転写リボンの装着

熱転写リボンには数種類あり、用途に応じて色を変えることもできます。純正 Zebra® 転写リボンは、お手元のプリンタと Zebra ブランドの用紙で使用するために特別に設計されています。Zebra® プリンタでの使用を承認されていない Zebra ブランド以外の用紙やリボンを使用すると、プリンタや印刷ヘッドを損傷する場合があります。

- 最適な印刷結果が得られるよう、用紙とリボンは適合するタイプにしてください。
- 印刷ヘッドの磨耗を防ぐため、必ず用紙より幅の広いリボンを使用してください。
- ダイレクトサーマル印刷の場合は、プリンタにリボンを装着しないでください。

以下の手順を実行する前に、リボンの包装紙を取り、のりの付いた先端部分をロールから剥がして、リボン装着の準備をします。



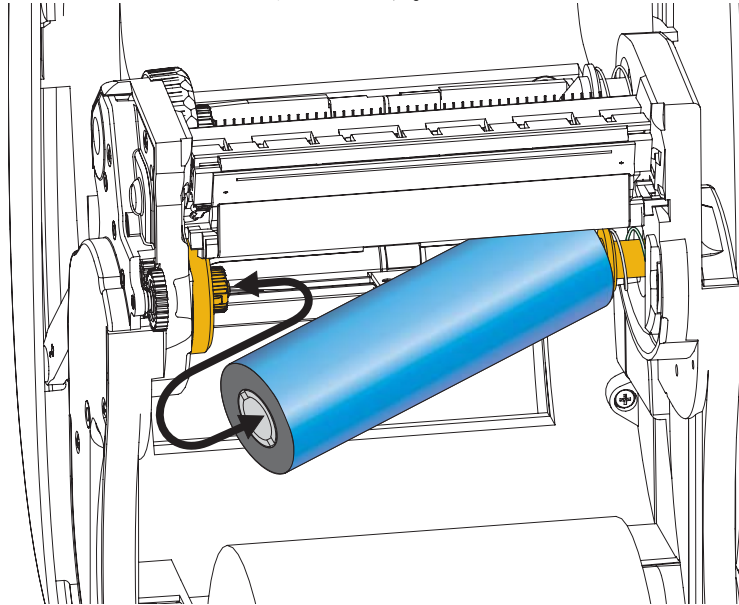
リボンの使用に関する詳細については、『ユーザー・ガイド』を参照してください。



重要・初期モデルのデスクトップ・プリンタのリボン巻芯は絶対に使用しないでください。旧式のリボン巻芯は、巻芯の片側だけに切れ込みがあるタイプで、これらの旧式の巻芯は大きすぎるため、巻き取りスプールが巻き付いてしまう原因になります。

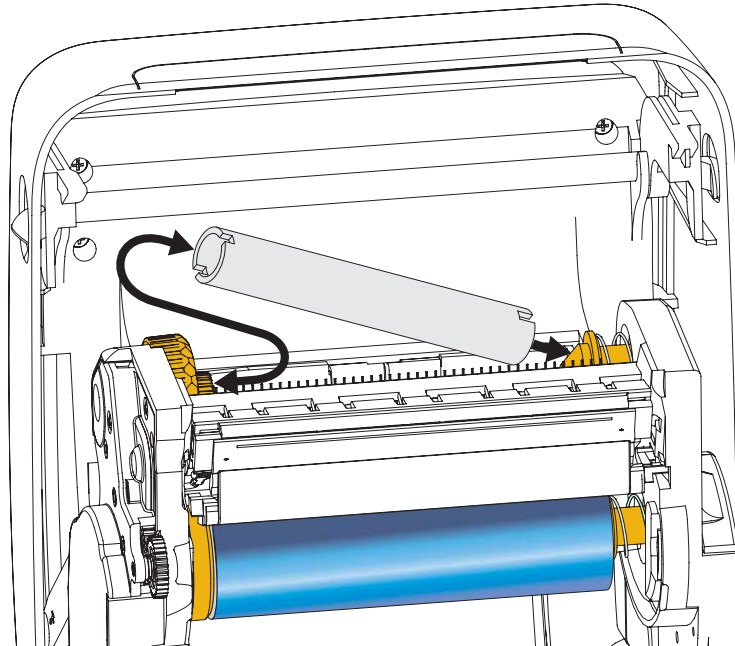
注・切れ込みが損傷した（丸くなったり、すり減ったり、潰れたりした）巻芯は、絶対に使用しないでください。巻芯をスピンドルにロックするには、巻芯の切れ込みのかどは、垂直な四角でなければなりません。さもないと、巻芯がスリップして、リボンにしわが寄ったり、リボンの終端検出がうまくいかないなど、間欠的な障害が発生します。

1. プリンタが開いている状態で、新しいリボン・ロールをプリンタの下側のリボン・サプライ・スピンドルにセットします。



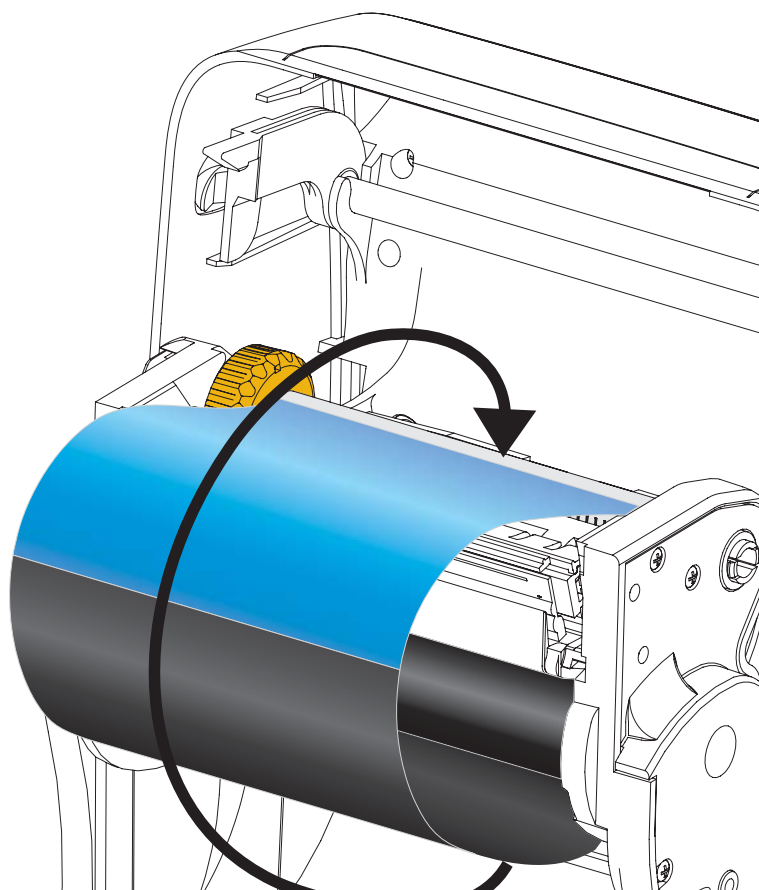
溝がサプライ・ハブの左側と合わさり固定されるまで、ロールを回転させます。

2. 空のリボン巻芯をプリンタの巻き取りスピンドルに載せます。溝が巻き取りハブの左側に合わさって固定するまで、リボン巻芯を回転させます。

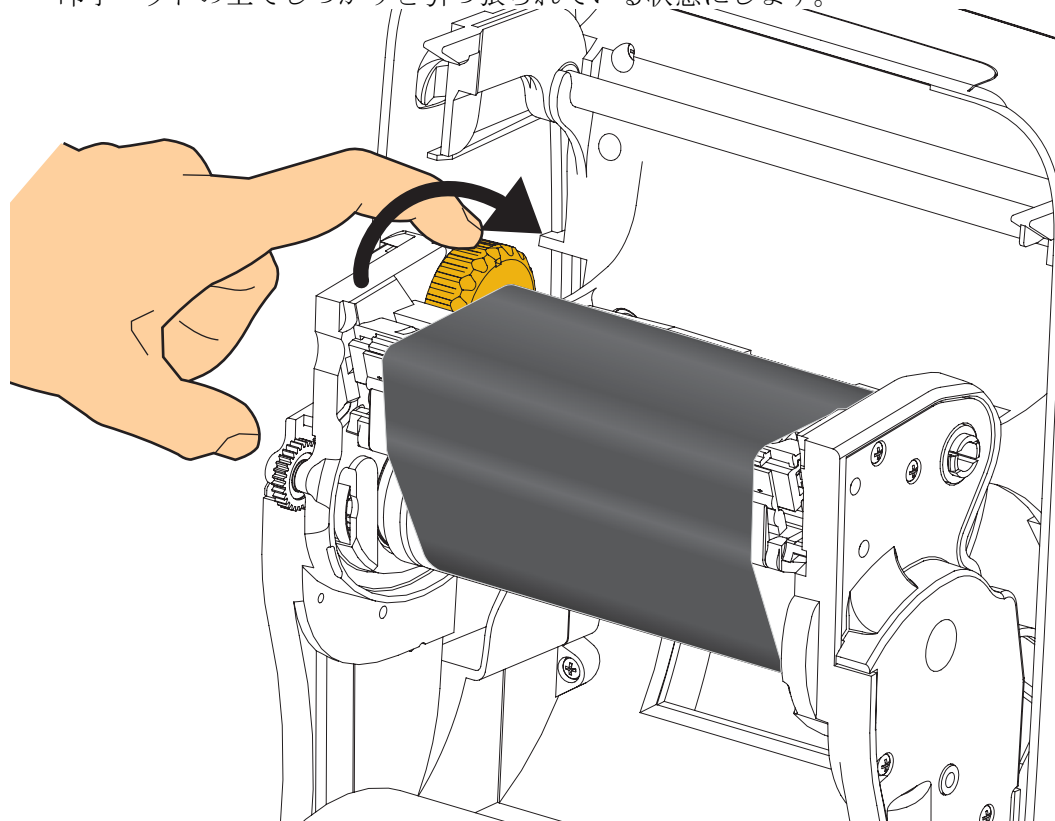


最初のリボン巻き取り芯は、包装箱の中にあります。次からは、空になった巻芯を使って次のリボン・ロールを巻き取ってください。

3. 熱転写リボンのリーダーをロールから引き出し、リーダーののりの付いた先端を、サプライ・スピンドルの空の巻芯に貼り付けます。リボンがリボン芯の中心にくるようにします。



4. サプライ・スピンドルの左にあるつまみをプリンタ後部に向けて回し、リボンが印字ヘッドの上でしっかりと引っ張られている状態にします。



5. 用紙がセットされ印刷可能であることを確認してから、プリンタ・カバーを閉じます。
6. フィード・ボタンを押し、用紙が少なくとも 10 cm (4 インチ) 以上送り込まれるようにして、リボンにたるみやしわがなく、リボンがスピンドル上で正しい位置にくるようにします。
7. 印刷モード設定をダイレクト・サーマル印刷から熱転写に変更して、熱転写用紙用にプリンタの温度プロファイルを設定します。これはプリンタ・ドライバ、アプリケーション・ソフトウェア、またはプリンタ・プログラミング・コマンドで行えます。
- ZPL プログラミングでプリンタ操作を制御する場合は、メディア・タイプに関する ZPL II コマンド (^MT) を参照してください (『ZPL プログラミング・ガイド』の指示に従ってください)。
8. ダイレクト・サーマル印刷から熱転写印刷へのモード変更を確認するには、20 ページの [設定レポートのプリントアウトのテスト印刷](#) で設定ラベルを印刷します。プリンタの設定ステータス・ラベルで、‘PRINT METHOD (印刷方法)’ が ‘THERMAL-TRANS (サーマルから転写へ)’ となっているはずです。

これで、プリンタの印刷準備は完了です。

設定レポートのプリントアウトのテスト印刷

プリンタをコンピュータに接続する前に、プリンタが正常に作動していることを確かめます。これは設定ステータス・レポートを印刷することで確認できます。

1. 用紙が正常にセットされて、プリンタのトップカバーが閉じていることを確かめてください。
2. 「CANCEL (キャンセル)」ボタンを押しながら、プリンタをオン (I) にします。
3. プリンタのステータス・ランプが初めて緑色になるまで「CANCEL (キャンセル)」ボタンを押し続け、その後、放します。
4. プリンタおよびネットワーク設定レポートは、プリンタの表示に「プリンタ_レディ」と表示された後に数秒してから印刷されます。

PRINTER CONFIGURATION	
Zebra Technologies ZTC ZD500R-203dpi ZPL 40.J133000272	
+10.0.....	DARKNESS
6.0 IPS.....	PRINT SPEED
+000.....	TEAR OFF
TEAR OFF.....	PRINT MODE
GAP/NOTCH.....	MEDIA TYPE
TRANSMISSIVE.....	SENSOR SELECT
THERMAL-TRANS.....	PRINT METHOD
832.....	PRINT WIDTH
1232.....	LABEL LENGTH
39.0IN 988MM.....	MAXIMUM LENGTH
NOT CONNECTED.....	USB COMM.
BIDIRECTIONAL.....	PARALLEL COMM.
RS232.....	SERIAL COMM.
9600.....	BAUD
8 BITS.....	DATA BITS
NONE.....	PARITY
XON/XOFF.....	HOST HANDSHAKE
NONE.....	PROTOCOL
NORMAL MODE.....	COMMUNICATIONS
< > 7EH.....	CONTROL PREFIX
< > 5EH.....	FORMAT PREFIX
< > 2CH.....	DELIMITER CHAR
ZPL I1.....	ZPL MODE
NO MOTION.....	MEDIA POWER UP
FEED.....	HEAD CLOSE
DEFAULT.....	BACKFEED
+000.....	LABEL TOP
+0000.....	LEFT POSITION
DISABLED.....	REPRINT MODE
008.....	WEB SENSOR
058.....	MEDIA SENSOR
085.....	RIBBON SENSOR
128.....	TAKE LABEL
074.....	MARK SENSOR
021.....	MARK MED SENSOR
001.....	TRANS GAIN
100.....	TRANS LED
040.....	RIBBON GAIN
020.....	MARK GAIN
100.....	MARK LED
DPSCS4FXM1.....	MODES ENABLED
832 8/MM FULL.....	MODES DISABLED
2.0.....	RESOLUTION
LINK-OS VERSION.....	LINK-OS VERSION
V74.19.6Z <.....	FIRMWARE
1.3.....	XML SCHEMA
6.5.0 57005.....	HARDWARE ID
NONE.....	OPTION BOARD
4096k.....R:	RAM
57344k.....E:	ONBOARD FLASH
NONE.....	FORMAT CONVERT
F4 VERSION.....	IDLE DISPLAY
04/25/13.....	RTC DATE
00:01.....	RTC TIME
DISABLED.....	ZBI
2.1.....	ZBI VERSION
READY.....	ZBI STATUS
TM:MBE MICRO.....	RFID READER
20.00.00.01.....	RFID HW VERSION
01.01.01.02.....	RFID FW VERSION
USA/CANADA.....	RFID REGION CODE
USA/CANADA.....	RFID COUNTRY CODE
RFID OK.....	RFID ERR STATUS
16.....	RFID READ PWR
16.....	RFID WRITE PWR
F0.....	PROG. POSITION
0.....	RFID VALID CTR
0.....	RFID VOID CTR
991 IN.....	NONRESET CNTR
991 IN.....	RESET CNTR1
991 IN.....	RESET CNTR2
2.517 CH.....	NONRESET CNTR
2.517 CH.....	RESET CNTR1
2.517 CH.....	RESET CNTR2
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

Network Configuration	
Zebra Technologies ZTC ZD500R-203dpi ZPL 40.J133000272	
PrintServer.....	LOAD LAN FROM?
WIRELESS.....	ACTIVE PRINTSRVR
Wired	
ALL.....	IP PROTOCOL
000.000.000.000.....	IP ADDRESS
255.255.255.000.....	SUBNET
000.000.000.000.....	GATEWAY
000.000.000.000.....	WINS SERVER IP
YES.....	TIMEOUT CHECKING
300.....	TIMEOUT VALUE
000.....	ARP INTERVAL
9100.....	BASE RAW PORT
9200.....	JSON CONFIG PORT
Wireless*	
ALL.....	IP PROTOCOL
172.029.016.073.....	IP ADDRESS
255.255.255.000.....	SUBNET
172.029.016.001.....	GATEWAY
172.029.001.003.....	WINS SERVER IP
YES.....	TIMEOUT CHECKING
300.....	TIMEOUT VALUE
000.....	ARP INTERVAL
9100.....	BASE RAW PORT
9200.....	JSON CONFIG PORT
INSERTED.....	CARD INSERTED
02dfH.....	CARD MFG ID
9118H.....	CARD PRODUCT ID
ac:3f:a4:07:fe:b4.....	MAC ADDRESS
YES.....	DRIVER INSTALLED
INFRASTRUCTURE.....	OPERATING MODE
125.....	ESSID
100.....	TX POWER
ALL.....	CURRENT TX RATE
OPEN.....	WEP TYPE
NONE.....	WLAN SECURITY
1.....	WEP INDEX
000.....	POOR SIGNAL
LONG.....	PREAMBLE
YES.....	ASSOCIATED
ON.....	PNP ENABLED
15.....	PULSE RATE
OFF.....	INTL MODE
usa/canada.....	REGION CODE
usa/canada.....	COUNTRY CODE
0x3fffffff.....	CHANNEL MASK
Bluetooth	
4.2.0.....	FIRMWARE
04/20/2012.....	DATE
on.....	DISCOVERABLE
3.0.....	RADIO VERSION
on.....	ENABLED
ac:3f:a4:07:fe:b5.....	MAC ADDRESS
40.J133000272.....	FRIENDLY NAME
No.....	CONNECTED
1.....	MIN SECURITY MODE
nc.....	CONN SECURITY MODE
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

これらのレポートを印刷することができない場合、本書を使用してプリンタのインストールをチェックしたら、『ユーザー・ガイド』または Zebra の Web サイトの「トラブルシューティング」セクションを参照しガイダンスに従ってください。

コンピュータへのプリンタの接続

Zebra® ZD500™ プリンタは、多様なインターフェイス・オプションと設定をサポートしています。次のオプションと設定があります：ユニバーサル・シリアル・バス (USB) インターフェイス、RS232 シリアル、パラレル (IEEE 1284.49)、10/100 有線イーサネット、無線イーサネット (WiFi) および Bluetooth

Windows® プリンタ・ドライバのプリインストール

Zebra セットアップ・ユーティリティのインストールは、プリンタに電源を投入する前に行ってください (プリンタの接続先は、Zebra ドライバ対応の Windows オペレーティング・システムを実行する PC です)。Zebra セットアップ・ユーティリティから、プリンタの電源投入を促すプロンプトが表示されます。引き続き指示に従って、プリンタのインストールを完了させます。

Zebra セットアップ・ユーティリティは、これらのインターフェイスのインストールを支援することを目的としています。これらの物理的な各プリンタ通信インターフェイスの配線と固有のパラメータについて、電源投入の前と直後に行う設定セットアップの選択に役立つように、以降のページで説明します。Zebra セットアップ・ユーティリティの設定ウィザードでは、適切な時にプリンタの電源を投入して、プリンタのインストールを完了するように指示されます。

ワイヤレス通信インターフェイスに接続するには：

- 『ZebraNet™ 有線プリント・サーバおよびワイヤレス・プリント・サーバ・ユーザー・ガイド』を参照してください。



注意・インターフェイス・ケーブルを取り付けるときは、電源スイッチをオフにしてください。通信ケーブルの接続または切断を行うときは、その前に電源コードが電源装置とプリンタ後部の電源コンセントに挿入されている必要があります。

インターフェイス・ケーブルの要件

データ・ケーブルは、完全シールド構造になっていて、金属または金属化されたコネクタ・シェルが付いていなければなりません。シールドされたケーブルおよびコネクタには、電気ノイズの輻射および受信を防止する必要があります。

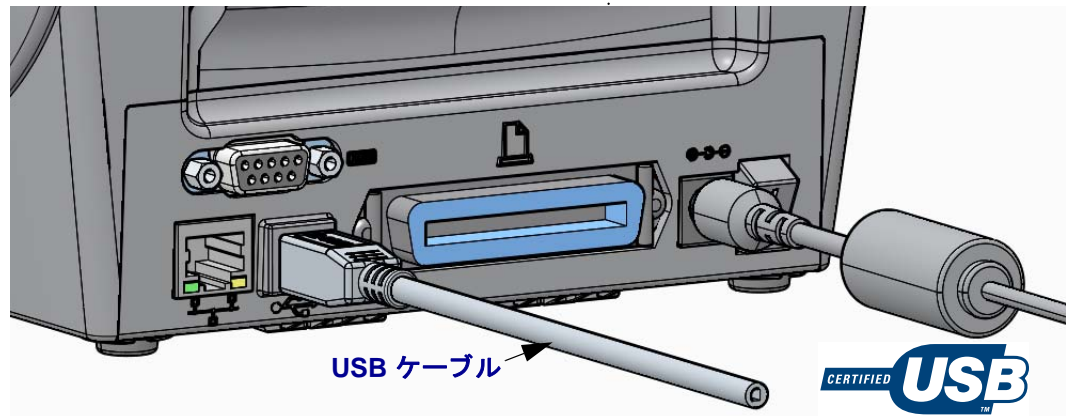
ケーブルの電気ノイズのピックアップを最小限にするには：

- ケーブルをできるだけ短くすること (1.83m (6 フィート) 推奨)。
- データ・ケーブルと電源コードをきつく束ねないこと。
- データ・ケーブルを電源ワイヤのコンジットに結び付けない。

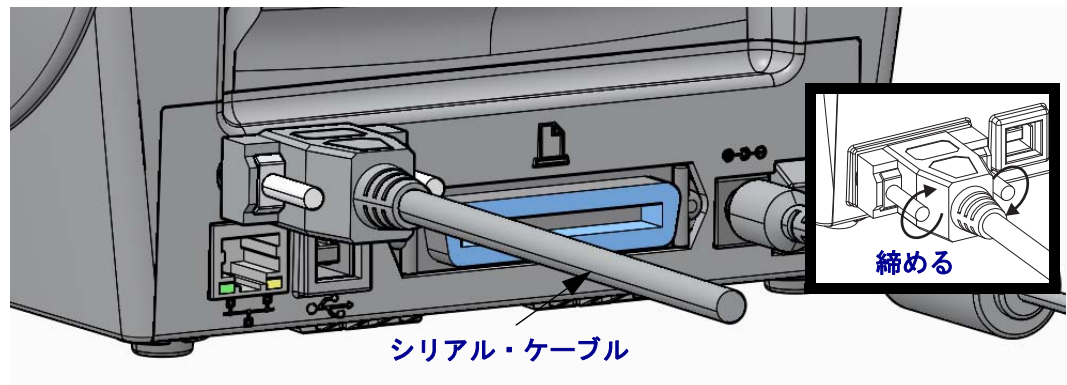


重要・このプリンタは、完全にシールドされたデータ・ケーブルを使用することにより、FCC の「規則と規制」パート 15 クラス B 装置に準拠しています。シールドされていないケーブルを使用すると、Class B の限度を超える輻射ノイズが放出されるおそれがあります。

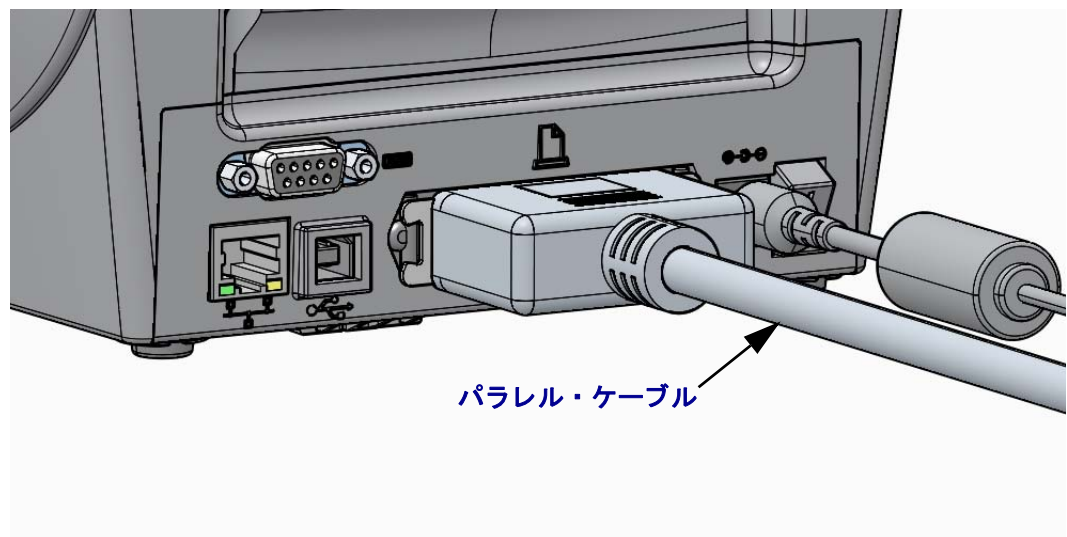
USB インターフェイス



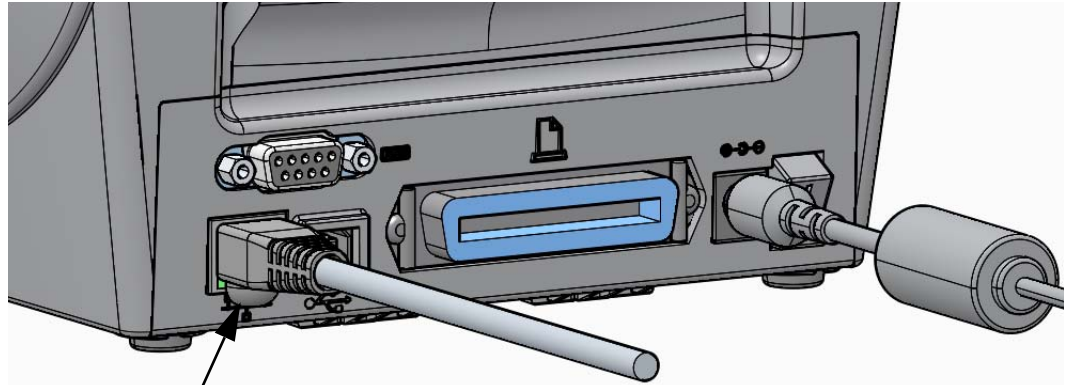
シリアル・インターフェイス



パラレル・インターフェイス



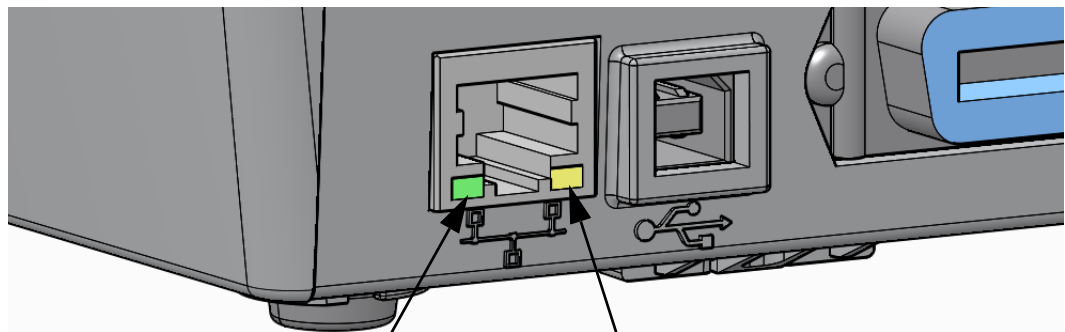
有線イーサネット・インターフェイス



イーサネット・ケーブル (RJ45 コネクタ)

イーサネット・ステータス / アクティビティ・インジケータ

LED ステータス	説明
どちらもオフ	イーサネット・リンクの検出はなし
緑色	100 Mbps リンクを検出
緑色と琥珀色で点滅	100 Mbps リンクとイーサネット・アクティビティを検出
琥珀色	10 Mbps リンクを検出
琥珀色と緑色で点滅	10 Mbps リンクとイーサネット・アクティビティを検出



緑色の LED

琥珀色の LED

マニュアル・キャリブレード - 用紙

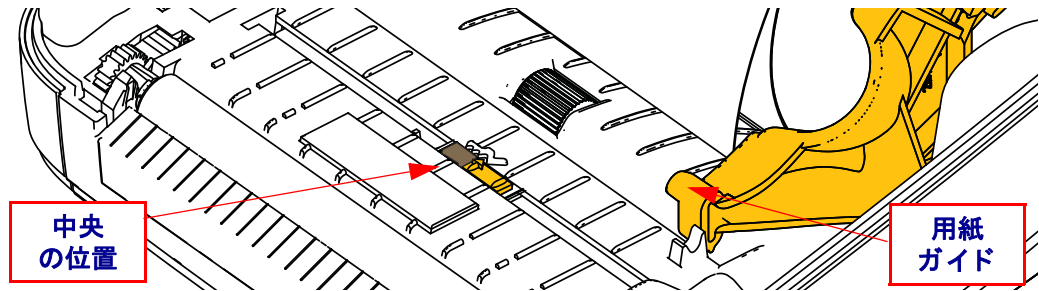
新しい用紙のためにセンサーおよびラベル長をプリンタで調整する必要がある場合があります。メーカーごと、さらにはバッチごとに用紙がわずかに異なる場合がありますので、使用される用紙に合わせてプリンタを再キャリブレードする必要があります。

用紙を変更した場合、使用していたバッチと同じ用紙でない限り、マニュアル・キャリブレードの手順を実行します。

使用中の用紙向けにプリンタを設定するための主な方法としては、コントロール・パネルの「SENSORS (センサー)」メニューからマニュアル・キャリブレード手順にアクセスする方法があります。プリンタがオンになり、「準備完了」の状態になったら、次の手順を実行し、プリンタの言語を設定します。

ライナーおよびラベルの間に「ギャップ」のあるラベル用紙のキャリブレード手順

1. 選択したラベル用紙をプリンタにセットします。ラベルのギャップ (透過式) の検知のために用紙センサーが中央の位置にあることを確認します。下記を参照してください。



2. ラベルの最初の 80 mm (3 インチ) をライナーから引き出します。プラテン (ドライバ・ローラー) および用紙ガイドの下の最初のラベルの先端の上に、ラベルのないライナーを配置します。
3. プリンタを閉じます。プリンタの電源を入れます。「Home (ホーム)」(⬆) メニュー・ボタンを押します。
4. 「SENSORS (センサー)」(⊗) メニュー・ボタンに移動し、「Select (選択)」(✓) ボタンを押します。
5. 「Left (左)」(◀) および 「Right (右)」(▶) ナビゲーション矢印を使用し、「マニュアル・キャリブレード」の手順を参照します。
6. ディスプレイの右下の **START** の下にある 「Select (選択)」 ボタン (—) を押します。
7. ディスプレイに次のメッセージが表示されます。
台紙をセットしてください
プリンタ・ポーズ
8. 「PAUSE (一時停止)」 ボタンを 1 回押すと、キャリブレード手順が始まります。
9. キャリブレードの最初の部分が完了すると、ディスプレイに次のように表示されます。
「RELOAD ALL (元に戻してください)」
「CONTINUE (次へ)」

- 再度、「PAUSE (一時停止)」 ボタンを 1 回押すと、キャリブレーション手順が続行します。プリンタがいくつかのラベルのフィードを開始し、次のようなメッセージをディスプレイに表示して停止します。
準備完了

余分な用紙を取り除いてください。用紙のキャリブレーションが終了し、印刷する準備が整います。

RFID のキャリブレーション (ZD500R のみ)

RFID のキャリブレーションは、ご使用のタグ・タイプに関する通信パラメータを設定します。この手順は、プリンタでの用紙のキャリブレーション (長さおよびギャップの設定) (通常は用紙のマニュアル・キャリブレーション) の後に実行する必要があります。RFID のキャリブレーション処理の間、プリンタは用紙を移動させ、RFID タグの位置をキャリブレーションし、使用される RFID 用紙に最適な設定を決定します。

これらの設定には、プログラミング位置、使用する読み取り / 書き込みのパワー・レベル、クリップ止めタイプを決定するためのタグの TID の読み取りが含まれます (またはフロント・パネルの RFID メニューから F0 を選択して行います)。

`rfid.tag.calibrate SGD` コマンドで「restore」オプションを使用することで、プリンタのデフォルトのプログラミング位置をいつでも復元することができます。

ライナー (ラベル台紙または「ウェブ」) からラベルまたはタグを取り外さないでください。これにより、プリンタは、隣接するタグをエンコードしない RFID 設定を決定することができます。タグのキャリブレーション手順中にバックフィードできるように、プリンタの前面から用紙の一部が突き出るようにします。

用紙の種類を変更する際には、必ず用紙のマニュアル・キャリブレーションおよび RFID のキャリブレーションを実施してください。同じ用紙の空のロールを交換する際には、これらの操作は必要ありません。

始める前に、RFID 用紙をプリンタにセットし、用紙のマニュアル・キャリブレーションを実行します。

- 「Feed (フィード)」 ボタンを 1 回押してラベルを 1 枚フィードします (進めます)。
- 「Home (ホーム)」 (↑) メニュー・ボタンを押します。「RFID (RFID)」 メニュー・ボタンに移動し、「選択」 (✓) ボタンを押します。
- 「Left (左)」 (◀) および「Right (右)」 (▶) ナビゲーション矢印を使用し、「RFID キャリブレーション」の手順を参照します。ディスプレイの右下の **START** の下にある選択ボタン (←) を押します。
- 選択した RFID タグ / ラベルの位置および RFID の読み取り / 書き込みの通信設定を調整する間、プリンタはゆっくりとラベルをフィードします。

キャリブレーションが次の表示メッセージで正常に完了すると、プリンタが追加のラベルをフィードする場合があります。 **READY** (準備完了)

- 余分な用紙を取り出します。用紙のキャリブレーションが終了し、印刷する準備が整います。